

### Ⅲ 財務の概要

#### 1. 当該年度の主な事業

##### 教育・研究条件の充実

3,484,921 千円

特色ある教育の充実をはかるために、教育・研究をより推進します。

大学・短大では、教学IRの推進を加速化させることで学修成果を可視化し、教育改善のPDCAへと繋げ、さらに、学生の学修成果や大学全体の教育成果を自発的・積極的に公表し、社会からの評価を通じた大学教育の質の向上を図ることができる教学マネジメントの確立を目指します。

また、地域に根ざす大学として、地域ニーズに対応した研究の推進を行います。

##### 学生等福利厚生 of 充実

計 306,173 千円

##### ・奨学金の充実

276,158 千円

経済的理由により修学が困難な学生及び学業ならびに課外活動等で優秀な成績を修め、就学意欲の顕著な学生等に給付した奨学金です。

##### ・学生助育及び福利厚生の充実

11,831 千円

活躍めざましい課外活動への補助、あるいは新入生のオリエンテーション、学生等の健康管理等、在学生活の充実体制を整えます。

大学・短大では、障がい学生支援が円滑かつ適切に行われるよう障がいのある学生の相談窓口として「障がい学生支援オフィス」を設置し、障がいのある学生が平等かつ公平な修学環境を得られるよう支援の充実を図ります。

##### ・キャリア教育支援

18,184 千円

建学の精神に基づき、「和」のこころを持ち、学園訓「感謝」「寛容」「互譲」を大切にす人材を育成します。加えて、知識偏重型の学習ではなく、学生が「何ができるようになるか」（知識活用型）の学習を重視することで、人間力と応用力を備えた「ありがたいのプロフェッショナル」を育成します。

##### 教育環境の充実

322,281 千円

施設・設備の充実は在学生活を豊かにするという基本理念のもと、今後も本学園の歴史を未来に活かし、交流の場となるキャンパスづくりを推進するため、逐次充実を図ります。

大学・短大では、学内情報ネットワークシステム（HUMANS：Hyogo University Multimedia Autonomous Network System）のサーバーおよびネットワークシステム

の更新を行います。また、教育環境の充実のため附属図書館の閲覧室の空調機の更新も行います。

神戸国際中学・高校では、ICT整備事業として高校棟全教室にプロジェクター型電子黒板導入、1人1台のパソコン導入に関して初めてタブレット型PC導入の取組を行います。

#### 地域に開かれた学園づくり

15,254 千円

学園の基本目標である「地域に愛される睦」「質を重視する睦」を目指して、自治体・企業・地域住民等に向け、全学的に推進している共同研究、公開講座、公開授業等を広く社会にアピールしていきます。

大学では、地域の知の拠点、交流の場として地域にとってなくてはならない高等教育機関であり続けることを目指します。大学の発展のみに留まらず、共に活動する中で豊かな社会の実現をめざし、学生の社会参画を目指し、高等教育機関としてSDGsを推進します。

#### 国際交流の充実

9,893 千円

海外の学校との交流や海外研修制度の充実など、教育の国際化を積極的に推進していきます。

(国際交流提携校の所在国は、兵庫大学：タイ・韓国・アメリカ他、附属須磨ノ浦高校：フランスであり、その他の交流国は、フィンランド・ニュージーランド・ドイツ・インドネシアです。)

#### 志願者数の確保

137,747 千円

安定した学生等確保の対策を強化し、より教育研究の向上を目指します。入試説明会、オープンキャンパス、個別学校訪問、入学予定者対象の「フォローアッププログラム」や附属須磨ノ浦高等学校の兵庫大学附属校化プロジェクトなどを積極的に行い、本学の教育内容を発信して、安定した学生等確保の対策を強化します。

大学・短大では、高大接続強化のため、探究学習（SDGs）のパッケージを開発し、高等学校での探究学習をサポートしていきます。